



2020年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年2月3日
東

上場会社名 NCS&A株式会社 上場取引所
 コード番号 9709 URL <https://ncsa.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 辻 隆博
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員常務 経営戦略室長 (氏名) 小林 裕明 (TEL) (06) 6946-1991
 四半期報告書提出予定日 2020年2月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	16,230	12.7	735	63.5	788	65.1	867	140.7
2019年3月期第3四半期	14,398	9.2	449	—	477	—	360	—

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 950百万円(175.6%) 2019年3月期第3四半期 344百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	47.28	—
2019年3月期第3四半期	19.58	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第3四半期	16,948	9,261	54.6
2019年3月期	16,550	8,583	51.9

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 9,261百万円 2019年3月期 8,583百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	0.00	—	12.00	12.00
2020年3月期	—	0.00	—		
2020年3月期(予想)				24.00	24.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

期末配当予想の修正につきましては、本日(2020年2月3日)公表いたしました「業績予想及び期末配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

期末配当予想の内訳 2019年3月期 記念配当 — 2020年3月期(予想) 記念配当 6円00銭

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	22,000	7.5	880	27.9	980	23.8	1,280	123.3	69.74

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

連結業績予想の修正につきましては、本日(2020年2月3日)公表いたしました「業績予想及び期末配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 ー社 (社名) 、除外 ー社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2020年3月期3Q	20,000,000株	2019年3月期	20,000,000株
② 期末自己株式数	2020年3月期3Q	1,682,897株	2019年3月期	1,572,061株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2020年3月期3Q	18,354,085株	2019年3月期3Q	18,416,055株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、米中の通商問題に係る緊張増大による影響が懸念されるなか、企業収益は製造業を中心に弱含んでいるものの高い水準で推移し、雇用・所得環境にも改善が見られるなど、緩やかな回復が続きました。

当社グループが属する情報サービス産業におきましては、AI、IoT、ビッグデータ、RPA（ロボティックプロセスオートメーション）等の技術を利用して、新しい製品やサービス、新しいビジネスモデルを通じて価値を創造し、競争上の優位性を確立する「デジタルトランスフォーメーション（DX）」に関するIT投資や、コンプライアンス対策、法令対応を目的としたIT投資、「働き方改革」の実現に向け業務効率化を目的としたIT投資等、国内企業のIT活用は多様化しており、市場環境は緩やかな改善が続きました。

このような環境のもと、当社グループは、「主力ソリューションの商品力強化」及び「営業力の強化」を両輪とした「トップライン（売上）の拡大」を基本方針とし、安定した収益基盤の確立に向け、積極的な投資及び積極的な受注活動を推進いたしました。

基幹システムの導入を得意とするホテルシステム事業につきましては、インバウンド旅行者の増加を背景とした新設ホテルの開業が続くなか、積極的な受注活動を推進し、売上、利益ともに引き続き堅調に推移いたしました。また、2019年10月より実施の消費税の軽減税率制度へのシステム対応案件が、ホテルシステム事業、外食システム事業を中心に増加いたしました。

自社開発製品であるシステムの可視化ソリューション「REVERSE PLANET（リバースプラネット）」につきましては、経済産業省が警鐘を鳴らしている「2025年の崖」問題（老朽化・肥大化・複雑化及びブラックボックス化した既存システムがDX推進の足かせとなり、ひいては国際競争への遅れや経済停滞に繋がる）に関連し、システムの可視化に対する顧客ニーズが高まりを見せるなか、既存顧客の深耕やアライアンス先との協業による導入ユーザー数の拡大に努め、売上が伸長いたしました。また、Windows7のサポート終了に伴うパソコン及びサーバ機器の更新需要を積極的に取り込んだ結果、ハードウェア売上が大きく増加いたしました。

受注を拡大させる一方で、開発プロジェクトの損失を最小限に抑えるべく、PMO（プロジェクトマネジメントオフィス）が現場に一步踏み込んで課題を共有し、現場とともに課題解決にあたりました。問題プロジェクトの「キズ」を最小限に抑えていくことで、売上総利益率の改善につながりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、前年同四半期に比べ18億31百万円（12.7%）増収の162億30百万円となりました。利益面につきましては、販売費及び一般管理費が前年同四半期に比べ増加したものの、増収効果及び売上総利益率改善による売上総利益の増加がそれを吸収したことから、営業利益は前年同四半期に比べ2億85百万円改善の7億35百万円、経常利益は前年同四半期に比べ3億11百万円改善の7億88百万円となりました。また、当第1四半期において、顧客のシステム統合化計画の見直しにより、導入済みの当社開発パッケージに係る保守契約の途中解約が発生いたしました。これに伴い発生した違約金収入1億55百万円を特別利益に計上したことから、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同四半期に比べ5億7百万円改善の8億67百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は169億48百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億97百万円増加いたしました。流動資産は143億48百万円となり、3億49百万円増加いたしました。主な要因は、仕掛品の増加(3億84百万円)、現金及び預金の増加(1億93百万円)、その他に含まれる仮払金の増加(1億20百万円)、商品の増加(70百万円)、受取手形及び売掛金の減少(4億24百万円)等であります。固定資産は25億99百万円となり、48百万円増加いたしました。主な要因は、差入保証金の増加(50百万円)、投資有価証券の増加(49百万円)、無形固定資産の減少(62百万円)等であります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は76億87百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億80百万円減少いたしました。流動負債は40億10百万円となり、1億78百万円減少いたしました。主な要因は、その他に含まれる前受金の増加(1億76百万円)、支払手形及び買掛金の増加(1億16百万円)、未払金の増加(98百万円)、賞与引当金の減少(3億13百万円)、未払法人税等の減少(2億80百万円)等であります。固定負債は36億76百万円となり、1億1百万円減少いたしました。主な要因は、退職給付に係る負債の減少(76百万円)、繰延税金負債の減少(10百万円)、リース債務の減少(8百万円)等であります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は92億61百万円となり、前連結会計年度末に比べ6億77百万円増加いたしました。主な要因は、利益剰余金の増加(6億46百万円)、退職給付に係る調整累計額の増加(56百万円)、その他有価証券評価差額金の増加(33百万円)、自己株式の増加(56百万円)等であります。

なお、自己資本比率は、前連結会計年度末の51.9%から54.6%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては2019年5月14日に公表いたしました、2020年3月期通期の連結業績予想を修正いたしました。詳細につきましては、本日(2020年2月3日)公表いたしました「業績予想及び期末配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,760,271	7,953,998
受取手形及び売掛金	5,217,935	4,793,597
商品	459,528	529,928
仕掛品	335,253	719,920
その他	226,408	351,226
貸倒引当金	△268	△258
流動資産合計	13,999,128	14,348,413
固定資産		
有形固定資産	343,542	327,738
無形固定資産	454,036	391,660
投資その他の資産		
投資有価証券	917,131	966,168
繰延税金資産	113,097	152,972
差入保証金	247,103	297,620
その他	547,129	515,373
貸倒引当金	△70,291	△51,671
投資その他の資産合計	1,754,171	1,880,463
固定資産合計	2,551,749	2,599,863
資産合計	16,550,878	16,948,276

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	777,017	893,475
1年内返済予定の長期借入金	30,361	9,996
リース債務	72,328	72,015
未払金	1,204,013	1,302,076
未払法人税等	345,266	64,796
賞与引当金	847,481	533,638
役員賞与引当金	67,172	52,350
受注損失引当金	3,342	7,012
その他	842,233	1,075,599
流動負債合計	4,189,216	4,010,961
固定負債		
長期借入金	30,008	23,344
リース債務	104,062	95,972
退職給付に係る負債	3,611,247	3,534,895
長期末払金	21,970	21,970
繰延税金負債	10,687	—
固定負債合計	3,777,975	3,676,182
負債合計	7,967,192	7,687,143
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,775,100	3,775,100
資本剰余金	4,738,134	4,743,286
利益剰余金	935,538	1,582,245
自己株式	△438,223	△495,208
株主資本合計	9,010,549	9,605,424
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	190,363	223,737
為替換算調整勘定	6,032	△944
退職給付に係る調整累計額	△623,259	△567,084
その他の包括利益累計額合計	△426,863	△344,291
純資産合計	8,583,686	9,261,132
負債純資産合計	16,550,878	16,948,276

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
売上高	14,398,254	16,230,050
売上原価	11,045,150	12,270,733
売上総利益	3,353,104	3,959,317
販売費及び一般管理費	2,903,349	3,224,122
営業利益	449,754	735,194
営業外収益		
受取利息及び配当金	19,819	23,025
未払配当金除斥益	4,728	3,170
助成金収入	2,585	11,525
保険解約返戻金	—	8,096
その他	4,277	8,372
営業外収益合計	31,412	54,189
営業外費用		
支払利息	1,159	552
有価証券売却損	1,301	—
為替差損	924	—
その他	258	211
営業外費用合計	3,643	763
経常利益	477,522	788,621
特別利益		
違約金収入	—	155,820
特別利益合計	—	155,820
特別損失		
事務所移転費用	—	1,690
特別損失合計	—	1,690
税金等調整前四半期純利益	477,522	942,750
法人税、住民税及び事業税	122,992	140,185
法人税等調整額	△5,978	△65,278
法人税等合計	117,013	74,907
四半期純利益	360,509	867,842
親会社株主に帰属する四半期純利益	360,509	867,842

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	360,509	867,842
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△33,969	33,374
為替換算調整勘定	△5,644	△6,977
退職給付に係る調整額	23,902	56,175
その他の包括利益合計	△15,711	82,571
四半期包括利益	344,797	950,414
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	344,797	950,414
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。